

「英語コミュニケーションⅡ」単元ごとの指導と評価の計画

愛知県立岡崎西高等学校
教諭 橋本 友紀

1 日時・実施場所

〈省略〉

2 学 級

〈省略〉

3 学級観

〈省略〉

4 教 材

〈省略〉

5 単元の目標

ジェンダーの現状に関する英文を読み、概要や要点を把握しながら、作られた「らしさ」という社会的概念について捉えることができる。また、多様な素材と言語活動を組み合わせ、差別や偏見のない社会を築くためにはどうすればよいかを考えることができる。さらに、メッセージ動画という形で、創造的なプレゼンテーションを発信できる。

6 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

聞くこと	事物の紹介や対話、説明などを聞き、情報や考えの概要を捉えることができる。
読むこと	600 から 700 語程度の英文を初見で読み、概要、要点、詳細を捉えることができる。
話すこと [やり取り]	身の回りの事象や社会問題について、情報を交換したり意見を交わしたりすることができる。
話すこと [発表]	社会問題について、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションの場で、具体例や理由とともに、自分の意見を表現することができる。
書くこと	情報を集め、事実やそれに対する自分の考えについて、簡潔な文章を 80 語程度の英語で論理的に書くことができる。

7 単元の評価規準（5つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none">英文を読み取るために必要な語彙や、準動詞・比較級を伴う表現を理解している。テーマに関する英文を読み取る技術を身に付けている。	教科書の英文だけでなく、関連するテーマについての追加資料を読み、概要や要点を捉えている。	

話すこと [発表]		ジェンダー平等の実現のために、調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら、聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう、口頭で表現している。	ジェンダー平等の実現のために、調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら、聞き手に自分の意見をよく理解してもらえるよう、口頭で表現しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 情報や自分の考えを書いて伝えるために必要な語彙、表現、ディスコースマーカ等を理解している。 ジェンダー平等のために自分たちができることを書いて伝える技能を身に付けている。 	ジェンダー平等の実現のために、調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら、読み手に自分の意見をよく理解してもらえるよう、具体例を用い、書いて伝えている。	ジェンダー平等の実現のために、調べたり見聞きしたり読んだりしたことを活用しながら、読み手に自分の意見をよく理解してもらえるよう、具体例を用い、書いて伝えようとしている。

8 パフォーマンステスト

○領域

話すこと [発表]

○内容

ショート・ムービーの制作を通して、「ジェンダー平等」に向けたメッセージを自分の言葉で伝える。

○採点の基準

	主体的に学習に取り組む態度		思考・判断・表現	
	【Attitude】	【Contribution】	【Fluency】	【Quality】
a (5点)	堂々と自信に満ちた話し方で感情を表現し、観客に伝えようとしている。	他のメンバーを尊重しながら積極的に協働し、よりよい作品づくりに大きく貢献している。	抑揚や発音に十分留意し、聞き手が聞きやすいよう配慮した上で、自分のメッセージをしっかりと伝えている。	独創的で、内容が非常に興味深く、観客の心に訴えかけるメッセージになっている。
b (3点)	時に自信が揺らぐことがあるものの、伝えようとしている。	他のメンバーと意見を交わし、作品づくりに貢献している。	抑揚や発音に気をつけ、自分のメッセージを伝えている。	内容や言おうとするメッセージは伝わる。
c (1点)	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。	bを満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの : a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : b

「努力を要する」状況と判断されるもの : c

※今回は「主体的に学習に取り組む態度」を重視したいため、評価基準の並びをこのようにした。流暢さや内容を重視するなら、「思考・判断・表現」を左に書くとよい。

9 単元の指導計画

※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと、読…読むこと、や…話すこと [やり取り]、発…話すこと [発表]、書…書くこと)

時間	■ : ねらい ○数字 : 言語活動	内容のまとめ					【 】 : 生徒の活動状況を見届ける観点 ○ : 方法
		聞	読	や	発	書	
1	■単元の目標を理解する。 ■テーマへの興味・関心を高める。 ①タイトルを読み、自分の身近にあるジェンダーバイアスについてペアやグループで発表し合う。 ② “Did you have any goods of a princess?” “What kind of lessons or clubs did you do when you were little?” など、本文で触れられている事柄に関して授業者が問いかけ、ペアで会話し、テーマを自分事として捉える。 ③初見で教科書のレッスン全文を通し読みをし、概要に関する選択問題に答え、全体の流れを確認する。 ④全文をリスニングして、各パラグラフのトピックとなるキーワードを見つけ、論理展開を捉える。 ⑤新出単語を確認する。				○	○	【知】適切な語句・表現を使用しているか。 【思】概要や要点を適切に捉えているか。 【態】概要や要点を適切に捉えようとしているか。 ○活動の観察
2・4	■2パート分のパラグラフをグループで分担して精読し、担当箇所に関して相手にその内容を伝える。 ①一人1パラグラフ担当箇所を読み、概要や要点を捉え、文法や重要表現を確認する。 ②グループで共有する。 ③各自で本文を読み直し、要点をメモする。分からないところは教え合う。		○			○	【知】語句や表現を習得しているか。 【思】概要や要点を適切に捉えているか。 【態】責任をもって担当箇所を読解しようとし、グループでともに学ぼうとしているか。 ○ワークシート
3・5	■リテリングにより、教科書内の語彙や表現を学び、話す力を養う。 ①教材を見ながらリテリングする。 ②キーワードのみを見ながらリテリングする。				○	○	
6・7	■章末活動の説明、目標の確認 ■定義、関連用語の確認 ■グループで協働しながら追加資料を読み、問題を多角的に捉える。 ①グループトークをする。(アイスブレイク) ②資料をいくつか読んで背景知識を活性化する。 ③教科書のキーワードを英語で捉えてマッチングするグループ活動を行う。 ④Additional Reading ・英文記事をグループで分担し、概要や要点を捉える。 ・読み取った内容を共有する。 ・感想や意見をグループで話し合った後、英文にする。	○	○	○	○	○	【知】英語のデータを的確に読み取っているか。適切な語句・表現を使用しているか。 【思】視覚的に読み取った内容を、言語化して相手に伝えているか。読解した英文の内容を、論理的かつ簡潔に口頭で伝えているか。 【態】データを的確に読み取り相手に伝えようとしているか。読解した内容を、論理的かつ簡潔に口頭で伝えようとしているか。 ○活動の観察

8	<p>■社会問題の解決策をグループで考える。</p> <p>①ジェンダー・バイアスに関するテーマを一つ選ぶ。 (制作する動画のテーマ決定)</p> <p>②その問題を解決するためのアイデアについて、ブレインストーミングする。</p> <p>③付箋に書き出す。(ここからKJ法)</p> <p>④付箋の情報を同類でまとめ、グルーピングする。</p> <p>⑤関係性を図解化し、論理的につなげる。</p> <p>⑥グループで結果をまとめる。</p>	○				○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】伝えたい内容を論理的かつ簡潔に、書いたり話したりして伝えているか。</p> <p>【態】伝えたい内容を、論理的かつ簡潔に、書いたり話したりして伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
9 10 11	<p>■グループで協働し、構成やスクリプトを練る。</p> <p>■ねらいをループリックで確認し、セリフやナレーションを練習する。</p> <p>①参考例として、ACの公共広告や“One World Festival” 動画コンテストの優秀作品を視聴し、リテリングする。</p> <p>②構成、ストーリー、役割などを話し合う。</p> <p>③スクリプトを書き、ウェブサイト Grammarly で修正する。</p> <p>④セリフやナレーションの練習をする。各自タブレット端末で「音読さん」のウェブサイトに入力し、ネイティブの音声とともに繰り返し練習する。自然な読みができるようになったら、感情がより伝わるような抑揚や表現力をグループで話し合い、リハーサルを重ねる。</p> <p>⑤録画し、ロイロノート・スクール(株式会社LoiLo)に提出する。</p>	○				○	○	<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】概要や要点を適切に捉えようとしているか。また、自分の考えを積極的に伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
12	<p>パフォーマンステスト 兼 上映会</p> <p>・観客は評価シートに評価及びコメントを書き、発表者にフィードバックする。</p> <p>・時間があれば、作品に込めた思いを発表したり、質疑応答をしたりしてもよい。</p> <p>(優秀作品を選び、学年で合同上映会をしてもよい。)</p>	○					思 態	<p>※採点基準はループリックに基づきあらかじめ生徒に提示する。「8 パフォーマンステスト」を参照。</p> <p>○ループリック、評価シート</p>
	<p>■活動全体の振り返り</p>					○	態	○振り返りシート(ブックレット提出)
後日	<p>■定期考査</p>			知 思			知 思	

--	--	--	--

**MAKE A SHORT MOVIE
FOR
GENDER EQUALITY**

GRADE _____ CLASS _____ NO. _____

NAME _____

I INTRODUCTION

1 PURPOSE OF THE ACTIVITY

- 1) To have interest in diversity, especially in gender
- 2) Learn about the problems of gender inequality and think about solutions
- 3) To create a short movie in English to carry your message
- 4) To communicate with other students and learn together

2 LESSON PLAN

Period	at Class		at Home	Evaluation	Skills
1 2	I Introduction 活動の説明、目標の共有	Group Work		活動の観察 Worksheet	R
	II What is gender? 定義				
	III Learn about the Key Words in the Textbook 教科書に出てきた言葉から背景知識を学ぶ				
3	IV Read, Watch & Think 1) 読解 2) 内容のシェア 3) 意見・感想の表現活動 4) ポキャブラリーの習得	Tablet Group Work	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナを張る ・リサーチを進める ・出合った表現の習得 		R S W
+α	*ALT's Workshop 出身国や諸外国のジェンダーについての特別講座				L S RW
4	V Deep Dive into a Problem 1) トピック選定 2) プレインストーミング 3) KJ法で解決策を導出	Tablet Group Work			W S
5 7	VI Make a Movie 1) ループリックの確認 2) メッセージの設定 3) 構成、流れ 4) スクリプト・ライティング (grammarty) 5) セリフ/ナレーションの練習 (音読さん) 6) 撮影 (60秒以内)	Tablet Group Work		活動の観察 Worksheet	W S
8	VII Show & Evaluation 1) 相互評価 2) フィードバック	HR 上映会 学年上映会		パフォーマンス Worksheet	L W
	VIII Reflection 活動全体の振り返り、自己評価		振り返りシート	Worksheet	

3 GOAL

			Excellent!	Fair	Need Improvement
主	Attitude	堂々と自信に満ちた話し方で観客に伝えようとしている。	5	3	1
	Contribution	他のメンバーを尊重しながら積極的に協働し、よりよい作品作りに大きく貢献した。	5	3	1
思	Fluency	抑揚や発音に十分留意し、聞き手が聞きやすいよう配慮した上で、自分のメッセージをしっかりと伝えている。	5	3	1
	Quality	独創的で、内容が興味深く、観客に訴えかけるメッセージになっている。	5	3	1
Comments:				Total	
				/20	

II

WHAT IS GENDER

TASK 1 ICEBREAKING: GROUP TALK

They are a double-income couple; one is a truck driver, the other a nursery teacher. They agreed to share housework and take care of their child together. But in fact, the burden of housework and childcare is much heavier on the nursery teacher.

What advice will you give them?

TASK 2 WHAT IS "GENDER" ?

"the physical and/or social condition of being male or female"

<Cambridge Dictionary>

"the fact of being male or female, especially when considered with reference to social and cultural differences, rather than differences in biology, members of a particular gender as a group"

<Oxford Learner's Dictionaries>

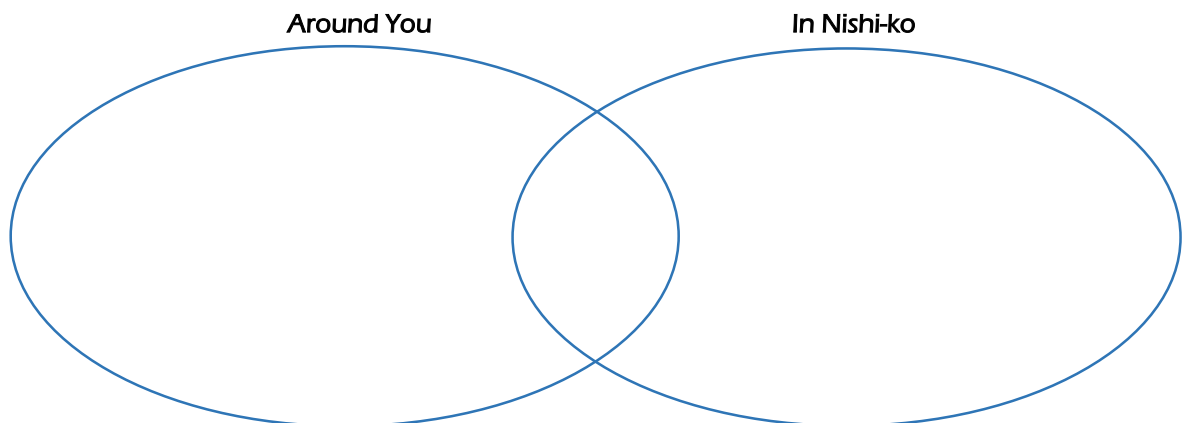
"the roles, behaviors, activities and characteristics that a particular society considers appropriate for men and women"

<Macmillan Dictionary>

"Unlike our biological sex, the concept of gender — masculine or feminine — is formed socially and culturally. For example, society assumes that men should earn money and women should do housework or raise children. These assumptions about gender roles lead to gender bias."

<Blue Marble English Communication II>

TASK 3 NOTICE



What is a Gender-Equal Society?

(*著作権につき内容は掲載できません)

[What is a Gender-Equal Society? | 内閣府男女共同参画局](https://www.gender.go.jp/english_contents/about_danjo/toward/society/index.html) (Gender Equality Bureau Cabinet Office)

https://www.gender.go.jp/english_contents/about_danjo/toward/society/index.html

◆GENDER GAP INDEX 2023

<https://www.asahi.com/sdqs/article/1493>



Economy Profile	Score (Imparity = 0, parity = 1)	Rank (out of 148 countries)	Index Edition
Japan	0.647	125th	2023

(*著作権につき内容は掲載できません)

【Reflection】

Did you join and enjoy talking with classmates in English? What do you think of the results of gender gap index?

III

LEARN ABOUT THE KEY WORDS IN THE TEXTBOOK

	notes	vocabulary in the text	Ans.
1 Gender			
2 Identity			
3 Gender Gap Index			
4 UNICEF			
5 NEET			
6 Gender in Northern European Countries			
7 Paternity Leave			
8 Pink Colored Job			
9 Gender Minority			
10 Kilt			
11 Genderless School Uniforms			
12 Men's Wearing Makeup			

【Reflection】

Did you do your best while reading?

How many key words could you match with the articles?

① Am I Reinforcing Gender Stereotyping?

(*著作権につき内容は掲載できません)

② Toxic Masculinity

<https://www.nhk.or.jp/minplus/0029/topic001.html>



③ 2019 年 東京大学 学部入学式 祝辞

2019 年 4 月 12 日 認定 NPO 法人 ウィメンズ アクション ネットワーク 理事長 上野 千鶴子



全文 <http://www.u-tokyo.ac.jp/>

映像 <https://www.youtube.com/watch?v=TWbi3sz1vUQ>

④ Japan Wants to Remove Social Pressure on Women in Science

July 16, 2023

(*著作権につき内容は掲載できません)

<Words in This Story>

innovation – *n.* the act or process of introducing new ideas, devices, or methods

doctorate – *n.* the highest degree that is given by a university

construction – *n.* the act or process of building something (such as a house or road)

unconscious – *adj.* not intended or planned: not consciously done



<https://learningenglish.voanews.com/a/japan-wants-to-remove-social-pressure-on-women-in-science/7179682.html>

⑤ Why a Japanese man proudly took his wife's last name

By Mai Yoshikawa, **KYODO NEWS** - Feb 13, 2021 - 12:54 | **Feature, AI, Japan**

(*著作権につき内容は掲載できません)

(*著作権につき内容は掲載できません)

<http://english.kyodonews.net/nres/2021/02/a7ac7de09482-feature>

【 Reflection】 -----
 Did you join and enjoy talking with classmates in English? What do you think of the articles?

V

DEEP DIVE INTO A PROBLEM

① Decide the Topic

② Brainstorming

③ How To Solve the Problem: KJ Method

【 Reflection】

Did you do your best?

Could you achieve good solutions?

VI
MAKE A MOVIE

message:

members:

flow/ script:

学びに向かう力を涵養するための授業構想・実践・考察

1 はじめに

新学習指導要領において「何ができるようになるか」、そのために「何を、どのように学ぶか」が明示されている。授業を構想するとき、いつも回帰すべきは「学校教育を通じて育てたい姿」である。そこには生徒が社会・世界と関わろうとすることの大切さと、学習を通して子供の人間性を育成するという「大きな視点」がある。

生徒たちには入学時より、本校英語科の目標「世界のあらゆる事象に関心をもち、多様性を享受できる寛容な人間性を養う」ことの大切さを一貫して伝えている。そして、新学習指導要領にあるように、学習とはただ目の前の知に向き合うことではなく、その過程に人間形成の本質がある。そこで、卒業までに育てたい生徒像を見据え、「英語コミュニケーション」では教科書のトピックに関連してCLIL*の考え方を取り入れた探究活動を、「論理・表現」においては論理的ライティングを、いずれも1年時より継続的に実践している。

*CLIL: Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習

2 「学びに向かう力」を涵養する授業の工夫

今回研究対象としたCLIL型授業では、社会問題に関して①現状の分析、②原因の把握、③自分たちにもできる解決策の考察とアウトプット、という流れの中に、英語の4技能5領域を養う言語活動を組み込んでいる。

授業構想で工夫したことは、以下の3点である。

(1) 生徒が自ら「選ぶ」

ジェンダーという普遍的な社会問題について教科書やオーセンティックな題材を通して概略を学んだ後、追究していきたい具体的なテーマを一つ、生徒たち自身が設定した。これは、「生徒が自らの興味・関心に従って選択・決定するという行為が学ぶ意欲につながるのではないか」という仮説に基づいている。

生徒の希望や意思を反映させた自由度の高い学習を可能にすることは、CLILの大きな強みである。授業者から与えられたテーマについて一律に学習する授業では、「やらされている」という感覚が生じかねない。しかし、生徒自身が問いを立てることで、「調べたい」「深めたい」「分かりたい」「誰かに伝えたい」というモチベーションが上がると推察される。

(2) 他者と「協働」する

授業では、ペアワークやグループワークを日常的に取り入れている。一人ではコミュニケーションは成り立たない。少しハードルの高いタスクはクラスメートと協力して取り組むことで学習効果も上がり、他者から学ぶことも多い。さらに、コロナ禍を経たこともあり、学校で学ぶ意義のひとつとして協働をさせたいとも思っている。社会に出れば、周囲と協力して調査・研究を進めたりプロジェクトを動かしたりする場面に出合うだろう。

生徒の学習意欲を高めるだけでなく、近い将来必要となる力を養うという意味でも、授業で協働する経験を積むことは必要不可欠である。

しかし、複数人でタスクに取り組むことは本当に学習効果と学習意欲を高めているのだろうか。今回の

授業実践を通して協働によりどのようなことが学習の場で起こっているのか、次項で分析・考察したい。

(3) 学習に「遊び」の要素を

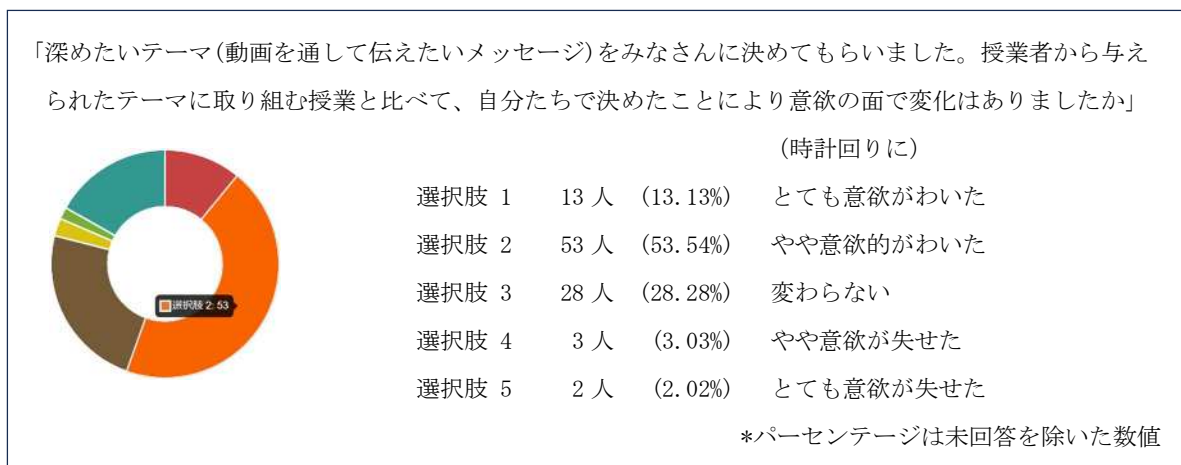
デジタルネイティブの生徒たちにとって、動画は日常の一部であり、世の中では、短時間でインパクトのある映像が次々と生み出されている。将来、社会に出たら、動画を用いてメッセージを発信したり、商品のPRをしたりする必要性が生じるかもしれない。そして何より、生徒たちの大好きな「動画」というメディアをアウトプット活動に使わない手はない。

ディベートやプレゼンテーションなどは、一度きりで評価が決まる緊張感があり、ある程度の即興性が求められるアウトプット活動である。一方、今回のような作品制作には即興性が大きく必要とされない。しかし、不足する要素は学習プロセスにおける他の言語活動で補うことができる。また、前者にはないメリットもある。例えば、音読ツールやALTの助けを借りながら、発音や抑揚の練習を積むことができる（今回は「音読さん」というツールを使用）。そして、どうしたらより観客に伝えられるかという表現力の面でも、他者と話し合いながらセリフの読み方に改善を重ねることができる。さらに、前回、パフォーマンステストのディベートで頭の中が真っ白になってしまい悔しい思いをした生徒にとって、今回はやり直し（撮り直し）が可能な点において、精神的なハードルが下がると考えられる。

3 実践と考察

(1) 生徒が「選ぶ」ということについて

2の(1)で述べた通り、「生徒が自らの興味・関心に従って選択・決定するという行為が学ぶ意欲につながるのではないか」という仮説のもと授業を実践後、担当生徒118名（理型1クラス、文型2クラス）にアンケートを実施した。その結果から、約67%の生徒が意欲の面で好反応を得たと分かった。



意欲の向上を感じた生徒の主な記述内容は、以下の通りであった。

- ・自分たちで考えるから、「知りたい」「知識を深めたい」という気持ちになる。(9)
- ・自分の興味・関心のあることについて学べるのでよかった。(7)
- ・自分の伝えたいことを自分の言葉で表現できるのが楽しい。(4)
- ・身近な問題だったことに気付いた。(4)
- ・たくさん考えるのがおもしろい。(2)
- ・与えられたルールに沿って考える必要がなく、自由に自分の発想を反映できて満足だった。(2)

実際に生徒たちが設定したテーマには、「部活」「メイク」「ジェンダーレスファッション」など、生徒にとって身近な視点が多く見られた。テーマ設定の際、ベースには各自の関心や嗜好があり、そこから社会問題を「自分ごと化」する生徒が多いのではないだろうか。

一方で、約 28%の生徒が「意欲の変化なし」、5%が「意欲の低下」と回答しており、主体的な活動の根幹とも言える「テーマ設定」が学ぶ意欲の実感にはつながらなかった点に注目したい。その理由を自由記述欄から拾うと、以下のとおりであった。

- ・テーマを設定するのが難しかった。(9)
- ・グループにアイデアを出してくれる人がいなくて困った。
- ・どう考えたらいいのか、例を教えてほしかった。
- ・あらかじめ用意されているいくつかのテーマの中から選択する形がよかった。
- ・もっと複雑なことを深めたいと思うが、時間が限られている上に英語でやるとなると難しいので、簡単でよくあるテーマになってしまった。そのため、意欲が湧いているわけではないが、意欲を削がれているわけでもないで、「変わらない」を選択した。

「大学に進学したら自ら問いを立てて深めていくことが大切になる」ということを生徒に伝えた上で今回の活動を始めたが、「自分で考えること」自体をハードルが高いと感じる生徒が一定数いることが分かった。教科書やアディショナル・リーディングを通してさまざまな例を示したつもりだが、興味の対象や追究テーマのヒントとして、生徒の心を揺さぶるには至らなかったということだ。授業者側から選択肢を与えることは避けたいが、何とか生徒が自分で学習テーマを決められるよう、手を差し伸べる方策を考える必要がある。

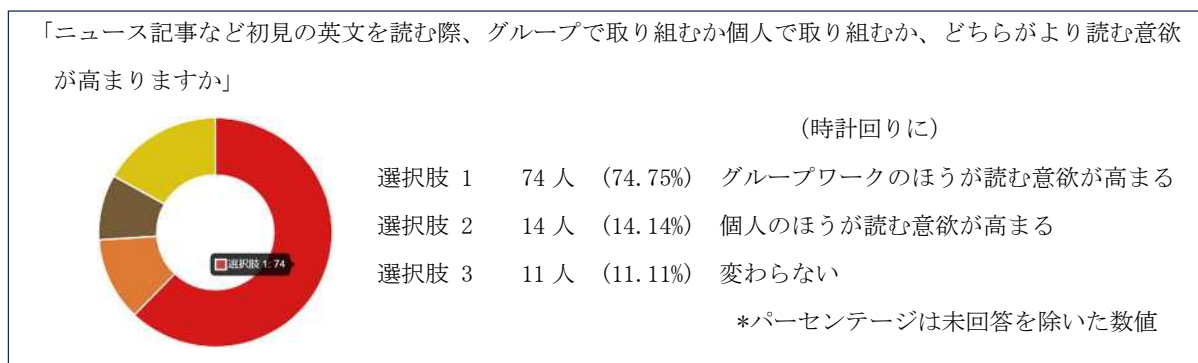
(2) 「協働」について

まず、グループワークは言語面でどのような影響力をもつのだろうか。確かに、生徒同士で活動する際に、不正確な英語で話が進んだり、教え合ったりする可能性があり、言語の正確さの面で懸念がある。しかし、Non Native Speaker 同士のやり取りに関する複数の研究結果から、以下の2点が分かっている(倉住、2014)。

- ・Non Native Speaker 同士でグループワークをした方が、授業者主導の授業と比較して練習の質・量とも大幅に増加する。
- ・理解できなかった相手の発話に対し、さまざまな修正を試みることで理解可能なインプットを増やしている。

これらを考慮すると、受け身的な講義型授業よりも生徒同士の活動型授業を実践する利点は大きい。

次に、グループワークが意欲面でどう影響を及ぼすのか。生徒アンケートからは以下のような結果が得られた。



生徒の約4分の3がグループワークに前向きに取り組んでいたことが分かる。意欲の向上を感じた生徒の記述内容における主なキーワードは、以下の通りであった。

- ・教え合い、協力 (19)
- ・自分の役割、責任感 (16)
- ・さまざまな意見、視野の広がり (14)
- ・楽しい (6)
- ・グループの迷惑にならないようにしたい (4)
- ・早い、効率がよい (2)
- ・安心感 (2)

一方で、否定的な意見には以下のようなものがあった。

- ・迷惑をかけてしまわないか不安 (2)
- ・きちんと読解する気のない人が同じグループにいると答えの配付もないのでテストのときに困る。
- ・早い人と遅い人、得意な人と不得意な人が合わせるのは難しい。

今回はオーセンティックな英文を読んだ際の協働に絞って質問したのだが、回答にはグループワーク全般に関するコメントも混在しているようだった(思いがけず、生徒が問いに対して的確に答えられない現状が露呈してしまった)。ともあれ、アンケート結果から、生徒は個人で学習するよりも他者と関わり合いながら学習した方が情意面でプラスに働くことが読み取れる。ただし、他生徒との協働に対して必ずしも好意的でない生徒も存在することを心に留め、対応しなければならない。

(3) 学びと「遊び」について

実際、「動画を作る」というゴールを示したときの生徒の表情は明るく、声が上がると、非常に好意的であった。そして、実際に「構成→スクリプト・ライティング→練習→撮影」と進む中、教室のあちこちで活発に意見が飛び交い、生き生きと練習し、真剣に撮影を行っていた。

A Iが普及し人々の働き方が変化されると言われるこの時代において「豊かに生きる」とは何かと考えると、「心豊か」であるために、また、自己実現や生きがいのために、学び続ける姿勢が必要であるとの思いに至る。生活には当然「楽しみ」が必要だが、学びのプロセス自体が「楽しみ」となれば最高ではないか。学びの中に遊びが、遊びの中に学びがあるような日常は、理想的と言えるのではないだろうか。

4 今後の課題

一連の活動では、生徒たちが種々の言語活動に対して非常に意欲的に取り組む姿を見ることができた。一方、今後の課題として、以下の3点が浮かび上がった。

(1) グループの成果物をどう個人の評価に反映させるかについて、教員間で十分な話し合いが必要である。今回、グループワーク、アディショナル・リーディング、ブレインストーミングなど、さまざまな言語活動に取り組んだ。よって、「プロセス」言語活動10点(下表1、2)、「成果物」動画作品10点(下表3、4)とし、さらに、作品のうち半分のみをグループ共通点とすることにより、全体としてはグループ活動でありながら個を適切に評価することができた(下表1から3が個別評価、4のみグループ共通評価)。

活動ルーブリック

活動ルーブリック					Excellent!	Fair	Need Improvement	
言語活動	1	Attitude	個	さまざまな言語活動に、意欲的に取り組んだ。	5	3	1	10
	2	Contribution	個	グループ活動において、他のメンバーを尊重しながら積極的に協働した。	5	3	1	
動画作品	3	Fluency	個	抑揚や発音に十分留意し、聞き手が聞きやすいよう配慮した上で、自分のメッセージをしっかりと伝えている。	5	3	1	10
	4	Quality	グ	独創的で、内容が興味深く、観客に訴えかけるメッセージになっている。	5	3	1	

(2) 制作に時間をかけすぎるとは避けたかったので、学年共通ルールとして、「動画の尺は1分以上、各生徒が50語以上発話すること」とした。成果物としてはやや物足りないかという思いもあったが、作品だけでなくプロセスに重きを置き評価するという観点から、大き過ぎないアウトプットでもよいのではと考えた。今後は、短時間で実践できて、より学習効果の高いアウトプットを考えていきたい。

(3) ブレインストーミングからKJ法に取り組み、グループで分かったことを英語で発表する時間を設けたのだが、なかなか苦戦していた。即興性が目的だったのだが、他グループの発表中に辞書を引く生徒や、紙に読み上げ原稿を書き出す生徒もいた。英語を使う前に準備したがる生徒が多いのは気がかりだ。今後は、「とにかく英語で話してみる」という場面を多く設けていきたい。

生徒によっては活動の意義に疑問を抱いたり、教科書の読解やライティングなど、受験英語に直結するような授業を求めるコメントもあった。主体性を要するアクティブな授業に意欲を感じない生徒も少数ながらいるのだ。コミュニケーション・ツールとして英語を学ぶことにより、人として豊かに生きていくための能力や視野を広げることができるのだから、授業ではバランスを取りながら、多様な言語活動の重要性を伝えていきたい。

5 参考文献

- ・ *BLUE MARBLE English Communication II*. 数研出版. 2022
- ・ 「コミュニケーション・ツールの活用」. 上智大学CLTプロジェクト編. アルク出版. 2014
- ・ 「Society 5.0 に向けた人材育成 ～社会が変わる、学びが変わる～」. Society 5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会: 新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース. 2018
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/__icsFiles/afieldfile/2018/06/06/1405844_002.pdf
- ・ 平成30年度高等学校新教育課程説明会(中央説明会)における文部科学省説明資料高等学校学習指導要領について. 2018
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/__icsFiles/afieldfile/2018/09/14/1408677_1.pdf